
第41回日本ペストロギー学会新潟大会

第1日目 11月6日(木)

12:50~13:00 開会挨拶

平林 公男 (第41回日本ペストロギー学会新潟大会 大会長)

一般口演プログラム

13:00~14:24 一般口演1~7 (優秀発表賞審査対象) 座長 平林 公男

- 13:00 1. 東京都感染症媒介蚊サーベイランスにおける蚊幼虫等調査結果 (令和6年度)
○川寄大志、井口智義、原田幸子、山口綾太、横尾愛虹、秦 和寿、小林 巧、堀内詩歩、滝澤 賢、長島真美、木下輝昭、猪又明子
(東京都保健医療局健康安全研究センター)
- 13:12 2. 都内臨海部におけるヒトスジシマカのピレスロイド系殺虫剤抵抗遺伝子の解析
○山口綾太¹・原田幸子¹・井口智義¹・川寄大志¹・糸川健太郎²・駒形 修²
木下輝昭¹・猪又明子¹・葛西真治²
(¹東京都健康安全研究センター・²国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所)
- 13:24 3. 機械学習の手法を用いた飛翔昆虫捕獲数の予測について
○菊池 寛・山口 光 (株式会社サニックス)、
荻野和正 (産業医大・免疫学寄生虫学講座)
- 13:36 4. 室内性ダニの衣類による持ち出しに関する定量的評価
○財前哲哉・唐沢重考 (鳥取大学農学部)
- 13:48 5. カーバメイト系水和剤を使用したヤンバルトサカヤスデの駆除事例
○坂本 光、菊池 寛、二ノ宮貞則 (株式会社サニックス)、
荻野和正 (産業医科大学・免疫学寄生虫学講座)
- 14:00 6. 種の多様度とハプロタイプからみた食品工場で発生するチャタテムシの生態学的特徴
○野呂凜太郎¹・西垣岳彦²・池田健樹²・長谷川浩一¹
(¹中部大学応用生物学部、²セントラルトリニティ株式会社)
- 14:12 7. 外来昆虫由来の糸状菌を応用した外来昆虫の防除への試み
○神尾大地¹・岡部友希²・山本由珠¹・古山祐貴²・倉持幸司²
(¹東理大院・創域理工、²東理大・創域理工)

14：24～14：32 休 憩

地域課題プログラム

14：32～15：17 地域課題 1～4

14：32 地域課題 1

新潟県鵜川上流域別保におけるブユ成虫の飛翔密度とその防除戦略

○小暮 覚（柏崎市別保コミュニティセンター未来推進部ブト対策部会）

14：47 地域課題 2

五頭森林研修センターに侵入するネズミ相およびその防除について

○糸井朝飛（奄美野生生物保護センター）・丸山紗知（日本自然環境専門学校）

14：57 地域課題 3

新潟県内における動物注意標識の設置環境とロードキルの関係性

○庄田恭大・丸山紗知（日本自然環境専門学校）

15：07 地域課題 4

五頭山麓周辺における自動撮影カメラを用いたイノシシの生息調査

○杉浦 丞・丸山紗知（日本自然環境専門学校）

15：17～15：25 休 憩

基調講演プログラム

15：25～17：15 基調講演

15：25～16：20 基調講演①

演題「佐渡におけるトキの再導入と外来生物の影響」

講師 永田 尚志（新潟大学 名誉教授）

16：20～17：15 基調講演②

演題「高病原性鳥インフルエンザとオオクロバエ」

講師 澤邊 京子（国立感染症研究所 名誉所員）

18：00～20：00 懇親会

ホテルイタリア軒 3階 「サン・マルコ」

第2日目 11月7日(金)

一般口演プログラム

9:00～10:12 一般口演8～13

- 9:00 8. 横浜市内リスク地点4公園の蚊類捕獲結果—2015～2024—
○伊藤真弓・小曽根恵子・宇宿秀三・仙田隆一（横浜市衛生研究所）
- 9:12 9. 富山県における最近のクサギカメムシの越冬飛来数、
とくに2024年の大飛来について
○渡辺 護（国立健康管理研究機構 国立感染症研究所 昆虫医科学部）
- 9:24 10. モンクロシャチホコの防除のタイミング～生活環からの考察～
○北嶋康樹・船城海斗・萩原瑞希（茨城大学農学部）
- 9:36 11. 都心の歩道におけるワモンゴキブリの季節消長 第二報
○中野敬一（東京都港区）
- 9:48 12. 実際の現場でのアイトラッカーを利用した調査
一続 熟練作業員と未経験者の調査視点の相違について—
○谷川 力¹、芝生圭吾²、木村悟朗²、佐々木健²、市川博一²、大山克幸²、
野本祥一²、西田雄剛²、大川拓也²、茂手木真司¹、下ノ藺慧³、阪東美智子³
(¹(公社)日本ペストコントロール協会、
²(公社)東京都ペストコントロール協会、³国立保健医療科学院)
- 10:00 13. 登攀阻止素材テープのゴキブリに対する阻止効果
○濱田剛志・山中 大・鬼原雄史・齋藤祐輔（株式会社ダスキン）、
張 善在・相澤 毅・霜田政美（東京大学）、
竹中永典（鵬図商事株式会社）

10:12～10:22 休 憩

10:22～11:34 一般口演14～19

- 10:22 14. 都市に生息するドブネズミの種子摂食性 —クマネズミとの比較—
○小松謙之^{1、2}・芳賀英武¹・内田明彦²
(¹株式会社シー・アイ・シー、²ヤマザキ動物看護大学)

- 10 : 34 15. 赤外線センサーを活用したネズミ防除管理の取組み
○篠原綾乃¹・芝生圭吾²・佐々木健¹
(¹アベックス産業株式会社、²鵬図商事株式会社)
- 10 : 46 16. 次世代型オンラインモニタリング：IoT技術による高精度なネズミ検出と実証
○川竹友志・竹内成美・武津一輔・田之江崇文・亀本達也（環境機器株）
Chow-Yang Lee（カリフォルニア大学リバーサイド校）
- 10 : 58 17. 埼玉県久喜市および杉戸町におけるアライグマ（Procyon lotor）の
捕獲と炭酸ガスによる殺処分
○加藤芳明¹・渡辺賢二¹・田原雄一郎²
(¹株式会社富士環境、²埼玉県ペストコントロール協会)
- 11 : 10 18. コウモリの1 m以下低所侵入3事例
一古民家・別荘・古墳における床下・基礎・地表穴の記録と考察
○山岸 淳一（かわほりプリベント）
- 11 : 22 19. GPSデータロガーによるハシブトガラスのねぐら位置探索の試み
藤岡珠代・山本麻希（長岡技術科学大学大学院）
○白井正樹（電力中央研究所）
- 11 : 34～12 : 30 昼休憩
- 12 : 30～13 : 00 総 会
- 13 : 00～14 : 12 一般口演20～25
- 13 : 00 20. 鳥取砂丘防砂林におけるマダニ類の生息状況について
川本怜央・坂本 陸・○唐沢重考（鳥取大学農学部）
- 13 : 12 21. ピレスロイド系製剤のミナミツメダニに対する忌避効果
○皆川恵子¹・山崎 遼²・林 昌義²・大野史保子²・船橋一良²
(¹(一財)日本環境衛生センター、²エステー株)
- 13 : 24 22. アレルゲン測定による全国ヒョウヒダニ分布についての考察
○齋藤祐輔・鬼原雄史・濱田剛志・松尾明美・安藤美砂・荻野文敏
(株ダスキン)

13:36 23. 神奈川県で捕獲された特定外来生物の病原性レプトスピラおよび
SFTSウイルス抗体の保有状況

○伊達佳美・岡村 文・古川一郎（神奈川県衛生研究所）
佐藤つかさ（株式会社 明誠）

13:48 24. 繁殖箇所別リスクの季節変動：
観光ホテル客室におけるトコジラミ実地調査（24か月）
○塩田忠則（株式会社愛幸）

14:00 25. 吸血後トコジラミの体重変化
○数間亨（（一財）日本環境衛生センター）

14:12~14:22 休 憩

14:22~15:34 一般口演26~31

14:22 26. ハエトリグモのトコジラミ捕食行動
○橋本知幸（（一財）日本環境衛生センター）

14:34 27. 都内における屋外でのタバコシバンムシ捕集状況（2019~2024）
○井口智義・秦 和寿・原田幸子・川寄大志・山口綾太・伊賀千紘・高橋久美子
木下輝昭・猪又明子
（東京都健康安全研究センター）

14:46 28. 新築の集合住宅、新築住宅にて発生するカドコブホソヒラタムシ
フタコブホソヒラタムシ、チャタテムシについて
○田尻義典（関東薬品消毒株式会社）

14:58 29. ヒラタチャタテに及ぼすエタノールの殺虫作用
○田中康次郎・坂本育実・早川洋一（㈱フジ環境サービス）

15:10 30. 殺菌処理後のカビにおけるヒラタチャタテの発育能
○木村悟朗・吉浪 誠・吉野麻里子（イカリ消毒株式会社）

15:22 31. PCO業務へのデジタル技術の活用例
○岡田哲輝・永田統之・梶山知代・秋山晴香・鈴木玲子・田中康次郎
（㈱フジ環境サービス）

15:40~15:45 閉会挨拶